



山岡町下手向地内の小里川氾濫(平成29年8月)

梅雨入り前だからこそ 大雨に備える

問い合わせ 危機管理課 ☎26-2111 (内線354)

激しい雨とは、1時間にどれだけの雨が降った場合か知っていますか。気象庁では、1時間の降水量が30から50ミを記録した場合激しい雨と呼んでいます。50ミを超える非常に激しい雨、80ミを超えると猛烈な雨と呼ばれます。

激しい雨が降った場合、道路が川のようになつたり、山崩れ・がけ崩れの危険のある地帯では、避難が必要になつたりします。このような場合に、自分や大切な人の命を守るため、大雨への備えと早めの避難を心掛けましょう。

ゲリラ豪雨をはじめ、近年はこれまでに経験したことのない豪雨による災害が増えています。特に、6月の梅雨入りから秋の台風シーズンまでは、多くの雨が降り、より一層の注意が必要になります。

昨年の6月下旬から7月上旬にかけて九州地方を襲った大雨は、梅雨前線が西日本から東日本付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだことにより、前線の活動が活発化。6月28日から7月5日までの降水量は、宮崎県の一部で、1089.5ミに達し、鹿児島県や熊本県などでは500ミを超えました。1時間降水量は、最も多い地域で81ミを観測。記録的な大雨となりました。この大雨により、2人の方が亡くなり、9棟の建物が全壊するなど、多くの被害が発生しました。

物知りおじさんの ふるさと情報



伊東祐希さん
(飯地町)

今月の物知りおじさん

飯の地と不毛の地

飯地町は木曾川右岸にそり立つ標高約600ミの地です。多くの峰々が林立し、保水力に乏しく農耕に適さない「不毛の地」でした。

しかし、飯地の地名は「飯の地」であり、文字通りに読めば豊かな穀倉地帯を指します。不毛の地と飯の地では大きく矛盾しています。

元々、飯の地は現在の加茂郡八百津町潮南のことで、当時は塩見と呼んでいました。かつて美濃国苗木領飯地村は、この塩見を中心とした豊かな穀倉地帯であり、苗木藩の鉄砲隊の集落でした。半面飯地村東部は原生林に覆われ、人のほとんど住めない未開の地でした。

そこへ1669(寛文9)年、関ヶ原で敗れた伊東一族が苗木藩遠山家にかくまわれ、この地を金一両で購入。開拓して隠れ里を形成したのでした。

苗木藩としても、豊臣方の伊東一族をかくまうことが幕府に知れると、お家断絶は必至です。そのため、江戸幕府が諸藩の大名の監視と情勢調査のために派遣した、巡検使に飯地への立ち入りを阻止し続けてきました。



▲廃仏毀釈の後に再建された馬頭観音

明治に入り、元々穀倉地帯であった塩見は1897(明治30)年、飯地村から分離し、潮南村として独立。これにより、東部の飯地が地名として残ることになったのです。

余談ですが、不毛の地を生活の場へと開墾するには、馬牛の力が必要です。飯地には「血取り場」跡や「馬頭観音」が多く残されています。血取り場とは雄馬の去勢場であり、そんな馬をやさしく慰めるのが馬頭観音でした。馬頭観音は明治の廃仏毀釈により、そのほとんどが壊されたため、現在残っているのは、その後再建されたものです。

ふるさとに学び郷土愛を育む、毎月第3日曜日は「志那市読書の日」
市中央図書館 伊藤文庫



今月の表紙

豊作とコロナウイルスの早期収束を祈願

5月16日、長島町正家の円通寺前の齋田で、例年開催している「恵奈の里 次米 お田植え祭」の規模を縮小し、神事とお田植えが行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年には恵那農業高校生や小中学生は参加せず、実行委員会と地元関係者のみが参加。実行委員会の河村尚徳会長は「感染症が早く収束し、秋の抜き穂祭は盛大に行えることを願っています」と話しました。

数字で見る 恵那市

人口 (5月1日現在)

総数	49,564人	(+19)
男	24,180人	(+13)
女	25,384人	(+6)
世帯	19,924世帯	(+45)

() 内は前月との比較

人口動態 (4月異動)

出生	25人
死亡	40人
1月からの自然増減	-15人
転入	175人
転出	141人
1月からの社会増減	+34人
救急車出動回数 (4月)	168回 (765回)
() 内は1月からの累計	

交通事故 (4月)

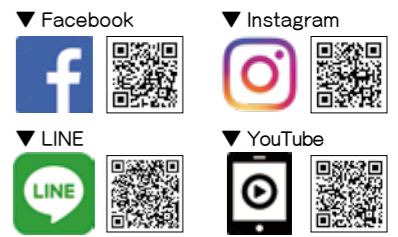
人身事故	5件	(19件)
物損事故	61件	(349件)
負傷者	6人	(21人)
死者	0人	(0人)
() 内は1月からの累計		

火災 (4月)

建物	4件	(5件)
その他	2件	(4件)
() 内は1月からの累計		

広報えな 6月号 目次

- 3 **特集** 梅雨入り前だからこそ大雨に備える
- 6 **特集** 恵那峡リニューアル
- 8 **特集** コロナウイルス情報
- 12 お知らせ
- 16 みんなの掲示板・おくやみ健康ガイド
- 18 相談コーナー
- 20 恵那中央出張所だより
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学
ビジネスサポートセンター
- 23 健幸レシビ・医療の現場から
- 24 出生・1歳になりました
園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 28 市職員募集



FacebookやInstagram、LINE、YouTubeの登録は無料ですが、接続料や通信料は利用者の負担です。

豪雨に備えるための心構え

1 情報を得る手段の確保

メール配信サービス

市では、防災行政無線や音声告知器、市ウェブサイト、市民メールを使って、気象情報や避難情報などをお知らせしています。

市民メールの配信サービスに登録することで、リアルタイムで気象情報などを受け取ることができます。この他、観光情報やイベント情報、熊出没情報、火災情報なども受け取れます。詳しい登録方法は、市ウェブサイトで確認ください。



▲メール配信サービス

停電情報お知らせサービス

中部電力パワーグリッド株式会社が提供する、スマートフォン向けアプリ「停電情報お知らせサービス」。このアプリは、停電が発生している地域や規模、復旧状況をプッシュ通知でお知らせします。



▲Android



▲iPhone

Yahoo!Japan 防災速報

Yahoo!Japanが提供するスマートフォン向けのアプリで、利用者が設定した地域の災害情報をプッシュ通知で受け取ることができます。このアプリは、緊急地震速報や大雨危険度、豪雨予報、気象警報、土砂災害情報、河川洪水情報など、あらゆる災害情報を網羅しています。






▲Android・iPhone 共通版

2 事前に調べる

自宅から勤務先・学校までの通勤通学路や、避難路などの危険な場所を把握しておくことが大切です。

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域とは、崖崩れや土石流、地滑りなどの土砂災害の発生する恐れがある区域です。市内には、1000近くの土砂災害警戒区域があり、詳しい情報は、市ウェブサイトに掲載している土砂災害ハザードマップで確認できます。

崖崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地滑り
雨や地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる自然現象	山の石や土砂が、大雨などによって水と一緒に激しく流れ下る自然現象	雨や雪解け水が地下に染み込み、断続的に斜面が滑り出す自然現象
		
前兆現象に注意しましょう!!		
<ul style="list-style-type: none"> 崖に割れ目が見える 崖から水が湧き出ている 崖から小石が落ちてくる 	<ul style="list-style-type: none"> 急に川が濁り流木が混ざる 山鳴りがする 雨が降り続けているのに川の水位が下がる 	<ul style="list-style-type: none"> 沢や井戸の水が濁る 地面にひび割れができる 斜面から水が噴き出す

洪水による浸水想定区域

浸水想定区域とは、河川の氾濫により、自宅などが水に漬かる浸水が想定される区域のことです。県では想定し得る最大規模の雨が降り、河川が氾濫した場合の浸水範囲や浸水深などの情報を県ウェブサイトで公表しています。



▲土砂災害ハザードマップ



▲浸水想定区域(岐阜県)

3 常に気に掛ける

川の水位を気に掛ける

県では、洪水時に川の水位を確認するため、危機管理型水位計の設置を進めています。現在は、市内の28河川に設置されており、今後も設置される予定です。危機管理型水位計の水位情報は、リアルタイムの情報をスマートフォンやパソコンから確認することができます。



▲川の水位情報危機管理型水位計

土砂災害の危険度を気に掛ける

大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報の発表時など、危険度を県のウェブサイトを確認できます。危険度に応じ、注意は黄色、警戒は赤色、非常に危険は薄紫色、極めて危険は濃い紫色で表示されます。リアルタイムの情報をスマートフォンやパソコンから確認することができます。



▲ぎふ土砂災害警戒情報

4 早めに避難する

危険を感じたらすぐ逃げる

猛烈な雨の場合、防災行政無線の避難情報が聞き取りにくかったり、突然の大雨で避難情報の発表が遅れたりすることがあります。危険を感じたら、すぐに逃げるのが重要です。



立ち退き避難と垂直避難

大雨災害から身を守るための行動には避難場所などへ避難する「立ち退き避難」と建物の上階へ避難する

川や用水路を見に行かない

大雨の時に、川や用水路を見に行き、流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

避難所での新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染症が収束する前に災害が発生したらどうなるのか、普段から事前の準備や、いざというときの対応を考えておきましょう。

避難の検討

避難とは、難を避けること。つまり、安全を確保することです。まずは自宅の災害の危険性を確認し、自宅に留まることができる場合は、自宅避難を検討しましょう。

親戚や友人宅などへの避難の検討

市の開設する避難所以外にも、親戚や友人の家など安全な区域にあり、広さに余裕のある所に避難することができる場合は、そうした場所への避難も検討してください。

健康状態の確認

普段から検温を行うなど、定期的に健康状態の確認を行いましょう。

避難所に持っていく物

通常の避難用品

- 加熱調理せず食べられる食料、飲み物
- 常備薬・処方薬、オムツ・生理用品などの日用品
- 携帯電話などの充電器・予備バッテリー
- 筆記用具 など

特別準備する避難用品

- マスク (タオル・手ぬぐいなどマスクの代わりになる物)
- 除菌シート、体温計、スリッパ など

避難所での感染予防ポイント

手洗い、手指消毒の徹底

小まめに石けんでの手洗いや手指の消毒をしてください。



手洗い

せきエチケットの徹底

マスクがある場合は正しく着用し、マスクがない場合はタオル・手ぬぐいなどで口や鼻を覆いせきエチケットを徹底してください。



咳エチケット

スペースの確保と十分な換気

人と人の距離を2m以上確保し、頻繁に換気を行うなど、可能な限り密閉・密集・密接の「3密」とならないよう心掛けてください。



換気